

これからも
金融機関で働く
あなたに
知ってほしいこと
～金融機関の在るべき姿とは～



講師 浪川 攻氏

金融ジャーナリスト。1955年東京生まれ。上智大学卒業後、電機メーカーを経て、金融専門誌、証券業界紙、月刊誌で記者として活躍。87年、株式会社きんざいに入社。『週刊金融財政事情』編集部記者、デスクを務める。東洋経済新報社の契約記者を経て、2016年4月、フリーに。「金融自壊」(東洋経済新報社)、「銀行員はどう生きるか」(講談社現代新書)など著書多数。

2019年 1月26日(土)

【会場】 ホテルオークラ新潟3F 白鳥の間

新潟県新潟市中央区川端町6-53

【時間】 14時～16時 (受付13時30分～)

参加無料

定員30名

【20代・30代の金融機関にお勤めの方限定】

【当日プログラム】

浪川 攻氏 講演「銀行員はどう生きるか」

- ①銀行の現状
日本の銀行の現状 欧米の銀行の現状
- ②今後の展望
顧客本位の重要性 フィンテックの活用
- ③銀行員の未来
20代・30代だからこそ考えるべき事
社員が幸せになる働き方改革(エフピーエム)

変化著しい金融業界。
今のままで10年後に
後悔しないとあなたは
言い切れますか？

銀行員はどう生きるか
浪川 攻

米銀の現状から
邦銀の未来を探る

瓦解する銀行神話

- 支店長でも年収は600万～700万円
- 数々の小さな支店が増加
- 「セカンド・キャリア」制度は前例し
- いつまでもたっても終わらない人員削減
- 人事制度が変わり配属転換も頻出

講談社現代新書

主催

広がる希望へ 各分野のスペシャリストがサポートします



Financial Planning Management
株式会社エフピーエム

金融商品仲介業者 関東財務局(金仲)第59号

お申込み・お問合せ
セミナー事務局
TEL0256-35-5117
管理部 長谷川



申込専用サイト

後援

NET 50th
ANNIVERSARY
株式会社新潟総合テレビ